

防犯啓発事業

[583]

事業の位置づけ

一般会計

政策	04	安全で安心なまちづくり	事務事業コード	44-0101	実施計画	
施策	04	防犯対策の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	01	防犯意識の高揚	担当	市民生活部 市民活動課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市民	<p>防犯教室等の開催(H30年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児・児童対象: 保育園、児童館で実施する交通安全教室と併せて実施(14ヶ所、1,334名) ・ 小学生対象: 新1年生を対象に連れ去り防止教室を実施(9校、751名) ・ 高齢者対象: 交通安全教室と併せて実施(6回、186名) ・ 自治会、シニアクラブ等のグループ対象: 出前講座の実施(15回、609名) <p>防犯キャンペーンの開催(H30年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 街頭キャンペーン(大手スーパー等)を市・警察署が共同実施(10回、1,382人) ・ 健康フェスタ・市民祭でコーナーを設置し、防犯啓発を行う。 ・ 広報等による防犯意識の啓発(車上・住宅侵入盗など) <p>安全安心メール配信による情報の共有化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 不審者情報等を効果的にメール配信する。 <p>尾張旭市地域安全推進協議会に負担金を支払い、協議会と共に防犯啓発事業を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防犯講話、防犯教室の実施
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多くの市民が防犯教室・キャンペーンに参加し、防犯意識が高まっている。 ・ 防犯意識が高まり、防犯対策を実践している。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標	防犯教室、キャンペーン等の開催回数	回	48	41	45	55
	防犯教室、キャンペーン等の参加人数	人	4,742	3,478	4,300	4,442
成果指標	防犯対策をしている子供の割合	%	85.1	83.9	40	84.1
	防犯対策の平均実践項目数(全9項目中)	項	-	2.61	2.68	2.61
事業費 計			724	629	529	529
指標・事業費	財源内訳	ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	724	629	529

H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	<p>(状況) 「防犯対策をしている子供の割合」は昨年度実績に比べ0.2%増加しています。また、H30年度計画の40%と比較すると44.1%高い結果となっています。</p> <p>(原因) 防犯教室の開催などにより、防犯に対する意識が向上していることが原因であると考えられます。</p>
	【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

地域防犯パトロール支援事業

[585]

事業の位置づけ

一般会計

政策	04	安全で安心なまちづくり	事務事業コード	44-0201	実施計画	
施策	04	防犯対策の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	02	地域ぐるみでの防犯体制の充実	担当	市民生活部 市民活動課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市民(地域住民) 自治会、町内会	<ul style="list-style-type: none"> 自治会・町内会等を対象に、防犯パトロールの実施を促す。 実施団体に対しては、必要な物品等(反射材付ベスト、腕章、青色警告棒等)を提供する。 防犯パトロール隊連絡会の開催(6月・11月) 年末特別警戒出発式(12月3日)に併せ警察署と防犯啓発活動を実施 平成29年度より、青色パトロール活動費に対し補助金を交付(尾張旭市地域防犯パトロール活動費補助金交付要綱)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

自治会、町内会に対して防犯パトロールの実施を促すことで、犯罪が抑止されるとともに、地域住民の防犯に対する意識が高揚している。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標	防犯パトロール推進活動数	件	54	53	60	53
	物品等を提供した自治会数	団体	54	53	60	53
成果指標	防犯パトロールを実施した自治会数	団体	54	53	60	53
事業費 計			163	696	866	678
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	163	696	866

H30年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 余地が小さい・なし</p>	<p>(状況) 防犯パトロールを実施した自治会数は昨年度と同数であり、H30年度計画の60団体と比較すると、7団体低い結果となっています。</p> <p>(原因) 昨年と同様に、自治会から脱退する団体が増加したことが原因であると考えられます。</p>
--------	---	---

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

かけこみ110番の家事業

[586]

事業の位置づけ

一般会計

政策	04	安全で安心なまちづくり	事務事業コード	44-0202	実施計画	
施策	04	防犯対策の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	02	地域ぐるみでの防犯体制の充実	担当	市民生活部 市民活動課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市民	「かけこみ110番の家」と表示された照明灯を門・玄関等の道路から見える場所に設置することで、夜間の犯罪抑止を図る。 また、「かけこみ110番の家」と表示されたプレートを門・玄関等の道路から見える場所に設置し、児童や女性などが犯罪に遭わないよう犯罪抑止を図る。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	(現状) 市内小学校へ連携をとり実施 全体件数 H26 692件 H27 657件 H28 652件 H29 670件 H30 753件 各学校と協力しながら、かけこみ110番の周知、地元への協力依頼を行う等防犯対策の必要な啓発を行い、防犯活動に努める。
	犯罪の抑止が図られ、市民の安心感が増している。 照明灯設置により、危険箇所が減少している。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標	設置箇所数	箇所	3	7	0	18
成果指標	安心を感じている市民割合	%	-	78.6	80.0	81.2
事業費 計			95	37	26	79
指標・事業費	財源内訳	ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	95	37	26

H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況)「安心を感じている市民割合」はH30年度計画の80%と比較して、1.2%高い結果となっています。 (原因)計画数値を超えており、防犯施策の成果が表れているものと考えられます。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

青少年街頭相談事業

[589]

事業の位置づけ

一般会計

政策	04	安全で安心なまちづくり	事務事業コード	44-0301	実施計画	
施策	04	防犯対策の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	03	青少年の非行防止対策の推進	担当	市民生活部 市民活動課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	青少年、保護者、一般成人、小学生以上の未成年者	少年センターの主任育成員1人、校区育成員(中学校区各1人、計3人)、街頭相談員3人が市内を日常的、或いは定期的(月~金9:00~16:30、土13:00~20:30)に巡回し、喫煙・怠学等の不良行為をする青少年に声かけをする。また、地域協力員(各種団体の構成員や役員によって形成されている「尾張旭市青少年健全育成推進会議」の委員全員を市長が委嘱)と、連携し青少年への声かけを行う。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
少年センター職員及び地域協力員が連携し、青少年へ声かけをすることにより、街頭相談件数が減少している。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標	街頭相談実施回数(日数)	日	290	289	290	287
	非行防止パトロールの実施回数	回	18	22	16	22
成果指標	少年センターによる街頭相談件数(延人数)	人	117	198	200	262
事業費 計			3,198	3,145	3,310	3,188
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	3,198	3,145	3,310

H30年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 一部遅延あり</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 余地が中程度</p>	<p>(状況) 成果指標「少年センターによる街頭相談件数」の実績は、H29に比べH30は64件増加している。</p> <p>(原因) 市内公園での少年のい集、スマホを使用しながらの自転車危険運転が増加していることから、街頭相談員によるパトロールと声かけを強化していることが要因である。</p>
--------	--	--

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

青少年悩みごと相談事業

[590]

事業の位置づけ

一般会計

政策	04	安全で安心なまちづくり	事務事業コード	44-0302	実施計画	
施策	04	防犯対策の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	03	青少年の非行防止対策の推進	担当	市民生活部 市民活動課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	青少年、その親・保護者、一般成人(小学生以上の市民)	少年センター電話相談員3人が相談活動として、非行、しつけ・教育、学校生活、友人関係などの心配ごとや悩みごとを電話、面談等により相談に応じ立ち直りの助言や援助を行う。 相談日 月～金 9:00～17:00 第2・第4土曜日 9:00～16:30(祝日は除く。)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	【参考】 少年センター街頭相談員3人は、市内を日常的(月～金 9:00～16:30 土曜日 13:00～20:30)に巡回し、喫煙・怠学等の不良行為をする青少年に声かけ等を行う。
	悩みを抱える青少年やその親、子どもの非行を心配する親などの悩みが緩和、解決されている。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標	相談件数	件	287	160	200	83
成果指標	相談事業に対する満足度	%	75.9	100	50	92
事業費 計			154	108	144	121
指標・事業費	財源内訳	ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般		154	108	144

H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 成果指標「相談事業に対する満足度」の実績は、H29よりH30は8ポイント低下したものの高い満足度となっている。 (原因) 相談員の対応能力が職場内外の研修により向上したことや、相談の事例について相談後に全員で、対応を協議し、今後の対応に役立てていることが要因と考えられる。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

事業の位置づけ

一般会計

政策	04	安全で安心なまちづくり	事務事業コード	44-0303	実施計画	
施策	04	防犯対策の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	03	青少年の非行防止対策の推進	担当	市民生活部 市民活動課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	青少年、その親・保護者、一般成人(小学生以上の市民) 青少年健全育成推進会議(市民団体)	青少年の健全育成活動を行う市民団体と市が連携し、非行防止パトロール・キャンペーン、推進大会などで青少年健全育成の重要性を市民に訴える。また、各種事業の折に啓発資材を配布し、あわせて市民意識の向上を図る。 また、青少年健全育成推進会議では平成22年度から「中学生サマーフェスティバル」を開催、平成28年度からは、開催時期と内容を変更し、「中学生フェスティバル」とし、音楽やダンスを通じて、中学生が交流する場として事業を展開している。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	尾張旭市青少年健全育成推進会議 役員 15人 構成員 397人(平成31年3月末現在) 支部 3支部(旭中校区・東中校区・西中校区) 事業 ・非行防止パトロール(盆踊り会場等) ・非行防止キャンペーン ・青少年健全育成推進大会 ・地域での声かけ運動
	継続した啓発活動により、非行防止パトロールなどが一層活発となり、青少年の健全育成、非行防止に関する環境が醸成され、地域が一体となって取り組むという市民の意識が向上している。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標	非行防止パトロールなどの実施回数	回	18	22	16	22
	啓発資材の数量	個	9,000	4,580	9,000	4,820
成果指標	青少年健全育成に地域の取り組みが必要と思う市民の割合	%	93.4	92.4	90	92.0
事業費 計			1,340	1,335	1,358	1,351
指標・事業費	財源内訳	ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	1,340	1,335	1,358

H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 成果指標「青少年健全育成に地域の取り組みが必要と思う市民の割合」の実績は、H29よりH30は0.4ポイント低下しているが、H30当初値の90%より2ポイント高い結果となっている。 (原因) 「『あさひの子』地域みんなで育てましょう」を合言葉に、家庭・学校・地域が一体となった地域での声かけ運動や、非行防止キャンペーンなど、青少年の健全育成が進められていることが要因と考えられる。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい	
	【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

防犯灯設置・維持管理補助事業

[594]

事業の位置づけ

一般会計

政策	04	安全で安心なまちづくり	事務事業コード	44-0401	実施計画	
施策	04	防犯対策の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	04	防犯施設の整備充実	担当	市民生活部 市民活動課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市民(地域住民) 自治会、町内会	<ul style="list-style-type: none"> 自治会、町内会の行う防犯灯の設置、器具取替費用の一部(定額・約1/2)を補助する。 自治会、町内会が管理する防犯灯(8月1日現在)の維持管理費用の一部(電気代等・定額)を補助する。 平成23年度より防犯灯設置等に係る補助金について、新たにLEDの補助区分を定めたところ、平成27年度からは補助申請の10割がLEDとなった。 平成30年度から維持管理に係る補助額を改正した。 (補助額) H29年度 2,200円 H30年度 2,100円
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

・自治会、町内会に対して補助金を交付することで、防犯灯の設置が促進され、危険箇所(暗がり)が減少している。
 ・犯罪の防止が図られ、住民の安心感が増している。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標	新設防犯灯の基数	基	77	83	80	62
	防犯灯維持管理基数	基	5,475	5,536	5,630	5,571
成果指標	防犯灯・街路灯の満足度	%	-	70.7	70	72.9
	夜間、家の周りを明るくしている市民割合	%	-	46.6	60	48.2
事業費 計			21,713	22,430	21,889	21,543
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	21,713	22,430	21,889

H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が中程度	(状況)「防犯灯・街路灯の満足度」は、H29年度(70.7%)と比較してH30年度(72.9%)では2.2%高い数値となっている。 他方、「夜間、家のまわりを明るくしている市民割合」のH30年度計画(60%)と比較して11.8%低い数値となっています。 (原因)防犯灯の増加に伴い、門灯等を点灯しない市民が増加しているのではないかと考えられます。
--------	---	---

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	自治会等による防犯灯のLED化を支援します。		
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	

防犯灯の設置促進、LED化【5,601灯 うちLED灯3,439灯(平成31年3月末現在 61.4%)】及び適切な維持管理が図られた。

防犯カメラ設置事業

[1272]

事業の位置づけ

一般会計

政策	04	安全で安心なまちづくり	事務事業コード	44-0403	実施計画	
施策	04	防犯対策の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	04	防犯施設の整備充実	担当	市民生活部 市民活動課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	市民 自治会、町内会	手段(事務事業の内容、やり方、手順)	<ul style="list-style-type: none"> ・44-0402 防犯カメラ整備事業を廃止、本事業平成28年度から新規事業として開始。 ・地域防犯のために防犯カメラを設置する公共団体に対し、その設置費用を補助することにより、安全安心なまちづくりを推進し、犯罪が起きない生活環境づくりを図る。 ・「尾張旭市公共的団体による防犯カメラの設置及び運用に関するガイドライン」(平成26年11月20日制定) ・「尾張旭市公共的団体による防犯カメラ設置事業補助金要綱」(平成27年4月1日施行) ・補助額については、対象となる経費の2分の1以内とし、防犯カメラ1台につき15万円を上限(予算額範囲内) ・市補助以外に県事業その他団体の支援(尾張旭ライオンズクラブ寄付)により設置された防犯カメラがある。<27年度 7台:市補助4台、県事業1台、ライオンズクラブ寄付2台/28年度 8台:市補助5台、ライオンズクラブ寄付3台> 設置について市が事務上の支援を行っている。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・犯罪の防止が図られ、住民の安心感が増している。 ・犯罪防止のため、自治会、町内会など防犯カメラを設置する公共的団体へ補助を交付することで、防犯カメラの設置が促進され、犯罪発生が減少している。 		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標	新設防犯カメラの基数	基	8	3	6	5
	防犯カメラの基数(累計)	基	18	21	27	26
成果指標	治安に対する安心感	%	-	78.6	80.0	81.2
事業費 計			750	266	750	592
指標・事業費	財源内訳	ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	750	266	750

H30年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 余地が中程度</p>	<p>(状況) 新設防犯カメラの基数は昨年実績と比べ2台増加している。</p> <p>(原因) 市民の防犯意識が高まっていることが要因であると考えられます。</p>
--------	--	--

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

交通防犯庶務事務

[974]

事業の位置づけ

一般会計

政策	04	安全で安心なまちづくり	事務事業コード	99-0303	実施計画	
施策	04	防犯対策の推進	評価区分	評価対象外	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	市民生活部 市民活動課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	庁外文書の收受 庁内通知、報告文書処理 財務会計事務 交通防犯係の予算決算に関する事務 交通防犯関係事業の行政評価・人事考課制度に関する事務 嘱託職員管理 出張命令書の処理 係の備品、消耗品の調達、管理 【1,898時間(:1人工)×0.3人工(交通防犯係庶務事務) 567時間】

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標						
成果指標						
事業費 計			449	2,550		
財源内訳	ア 国	千円				
	イ 県					
	ウ 地方債					
	エ その他					
	オ 一般		449	2,550		

H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 未設定 【成果指標の状況】 未設定 【成果向上余地】 未設定	
--------	---	--

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	未設定

少年センター庶務事務

[978]

事業の位置づけ

一般会計

政策	04	安全で安心なまちづくり	事務事業コード	99-0304	実施計画	
施策	04	防犯対策の推進	評価区分	評価対象外	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	市民生活部 市民活動課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・庁外文書の収受 ・庁内通知、報告文書処理 ・少年センターの予算・決算に関する事務 ・少年センターの行政評価・人事考課制度に関する事務 ・嘱託職員の勤務表調整事務 ・少年センターの備品、消耗品の調達、管理 <p>【1,860時間(:1人工) × 0.3人工(少年センター庶務事務) = 558時間】</p>

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績	
活動指標		時間	850	850	850	558	
成果指標		件	0	0			
		時間	0	0			
事業費 計		千円	60	58	51	79	
財源内訳			ア 国				
			イ 県				
			ウ 地方債				
			エ その他				
		オ 一般	60	58	51	79	

H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 未設定 【成果指標の状況】 未設定 【成果向上余地】 未設定	
--------	--	--

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	未設定